

11月は 高齢者虐待防止推進月間

高齢者虐待は年々増加傾向にあります。虐待の未然防止、早期発見・早期対応から、虐待を受けた高齢者の自立まで、切れ目のない支援が必要です。

高齢者虐待とは

65歳以上の方に対して行われる以下の行為です。

- ・身体的虐待（暴力を加える。行動を制限する。）
- ・ネグレクト（食事を与えない。介護・世話をしない。）
- ・心理的虐待（暴言・無視・心理的外傷を与える言動。）
- ・性的虐待（わいせつな行為をする・させる。）
- ・経済的虐待（財産を不当に処分する。日常生活に必要な金銭を渡さない。） ※内容は一例

虐待かもと思ったら

ためらわずに高齢福祉課（市役所2階）、亀田福祉課、高齢者あんしん相談窓口 地域包括支援センターに相談・通報してください。

（連絡先は本紙3ページ「除排雪サービス」に記載）

高齢者の虐待防止・孤立防止パネル展

期間 11月25日(火)～28日(金)

会場 市役所1階市民ホール

お問合せ 高齢福祉課 ☎21-3025



65歳からの健康づくり 介護支援ボランティア研修会

来年1月からボランティア活動を開始する方の登録前事前研修会を開催します。

この事業は、高齢者の方がボランティア活動を通して社会参加や地域貢献をすることで、ご自身がより元気になることを目的としています。市内の介護保険施設でボランティア活動を行うことでポイントが付き、たまったポイントを換金できます。

日時 12月2日(火) 午後1時半～5時(受付は1時～)

会場 総合保健センター

対象 65歳以上の市民（要介護・要支援認定者、すでにボランティア登録済の方を除く）

お申込み 11月21日(金)までに住所・氏名・生年月日・電話番号を明記し、はがき、FAXまたは持参で、〒040-8666（住所不要）高齢福祉課（☎21-3081☎26-5936）へ。

家族介護者交流事業

在宅で高齢者等を介護している方々の相互交流を通じて心身の元気回復を図る無料の日帰り交流会です。

実施日 11月11日(火)

お申込み 11月7日(金)までに参加申込書を郵送またはFAXで函館市社会福祉協議会（☎23-2226☎23-2224）へ。

HP ノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防しましょう

ノロウイルスとは？

ノロウイルスは、人に感染して下痢やおう吐等を引き起こし、人の小腸で増殖するウイルスです。1年を通して発生はみられますが、主に秋から冬にかけて流行し、例年1月から3月がピークとなる傾向にあります。

ノロウイルスの症状は？

潜伏期間は1～2日で、吐き気、おう吐、下痢、軽度の発熱が主な症状です。

通常1～2日で症状はおさまり、後遺症もありますが、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児などの場合、おう吐物をのどに詰まらせたり、脱水症状がひどくなるなどの危険がありますので、注意が必要です。

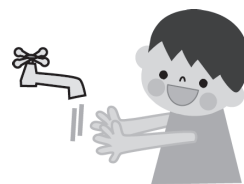
どうやって感染するの？

ノロウイルスの感染力は強く、ほとんどが経口感染（ウイルスが口から入って感染すること）です。ノロウイルスが付いた手や調理器具で調理した食品を食べ、食中毒を起こすこともあります。

予防方法は？

①基本は手洗い

調理の前・食事の前・トイレに行った後・外出先から戻った時・オムツ交換をした後・下痢症状のある人の便やおう吐物を処理した後などは、石けんを使って、よく手を洗いましょう。



②消毒・加熱処理

ノロウイルスには、アルコール系消毒剤は十分な消毒効果はありません。効果のある消毒は、次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤を薄めて使う）や、加熱（85℃以上の熱湯に1分以上浸す）です。

③便やおう吐物で汚染されたおそれがある場所の消毒

感染を拡げないために、便や吐物は、マスク・手袋をつけて飛び散らないように拭き取り、ビニール袋等に密封して捨てましょう。汚染された場所や物は、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液で範囲を広めに消毒しましょう。

お問合せ 保健予防課 ☎32-1539